



伊興中だより



令和6年12月9日 No8

足立区立伊興中学校
校長 森田 卓司

情報と知識について

～12月3日全校集会での副校長講話より～

副校長 前田俊夫

12月になり、今年もあとわずかとなりました。寒さが厳しくなる一方で、年末の行事や準備が進み、街も賑やかになっていますね。

今日は、「情報」と「知識」という2つの言葉をテーマに、皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

まず、「情報」と「知識」の違いについてお話しします。

情報とは、私たちがテレビやインターネット、本、会話などを通じて得られる事実やデータのことです。例えば、今日の天気予報やニュース、スマートフォンで調べた内容などが情報にあたります。一方で、知識とは、情報を理解し、自分の中に蓄積されたもののことです。情報をただ受け取るだけでなく、それを学び、自分で考え、活用できる状態になったとき、それは「知識」になります。たとえば、ある数学の公式を覚えたとします。ただ公式を知っているだけでは情報の段階です。それを使って問題を解き、自分のものにできたとき、それは知識へと変わります。

1921年に特殊相対性理論および一般相対性理論でノーベル物理学賞を受賞した、アルベルト・アインシュタインは「情報は知識ではない。知識とは唯一経験から得られるものだ」と話しています。ただ知っているという意味での知識は頭の中にあるだけで、真に身についた知識ではありません。

現代は「情報化社会」と言われています。スマートフォンやインターネットのおかげで、私たちは簡単に多くの情報を手に入れることができます。しかし、それらの情報を知識に変えられるかどうか、とても大切なポイントです。

情報を知識に変えるためには、次の3つの力を意識してほしいと思います：

1. 見極める力：正しい情報かどうかを判断する力
2. 考える力：情報をもとに、自分で考えを深める力
3. 応用する力：経験から知識を得る力

情報をただ収集し蓄積しているだけでは、知識に結び付きません。経験を積み重ねることで、はじめて知識を得ることができます。

今年1年を振り返ってみて、皆さんはどんな情報を受け取り、それを知識に変えられたでしょうか？学校での勉強や部活動、家族や友達との時間の中で、どんなことを学びましたか？

- ・ 例えば、授業で得た新しい知識をどのように活かしましたか？
- ・ SNSやネットで見た情報に対して、自分で考えることができましたか？

また、来年に向けてどんな知識を増やしたいか、どんな力を磨きたいかも考えてみてください。目標は小さなことで構いません。「1日1つ新しいことを調べる」「苦手な教科に少しずつ挑戦する」など、自分に合った目標を立ててみましょう。

2024（第30回）日本管楽合奏コンテスト 中学生S部門
最優秀グランプリ賞 文部科学大臣賞 表彰

日本管楽合奏コンテスト中学生S部門（11月10日開催）にて文部科学大臣賞・最優秀グランプリ賞を受賞した吹奏楽部に、12月3日の全校朝礼で賞状とトロフィーが校長先生から手渡されました。



↑文部科学大臣賞は額に入っていました。



↑立派なトロフィーを2ついただきました。

<生徒の活躍>

- ・全国納税貯蓄組合連合会及び国税庁が主催する「中学生の税についての作文」
西新井税務署長賞
足立区長賞
- ※西新井税務署長賞を受賞した〇〇さんは、12月9日に西新井税務署一日署長を務めました。

これからの予定

12/11(水)	区中研	12/27(金)	あだちからの日（閉校日）
12/16(月)	専門・中央委員会	12/28(土) ~1/5(日)	閉庁日
12/17(火)	2年校外学習・PTA給食試食会	1/6(月)	閉校日
12/18(水)	職員会議	1/7(火)	冬季休業日終
12/19(木)	生徒会交流会	1/8(水)	全校集会・安全指導・職員会議 (給食なし)
12/24(火)	生徒朝礼	1/14(火)	専門・中央委員会
12/25(水)	全校集会(給食なし)	1/17(金)	作品展(生徒鑑賞日)
12/26(木)	冬季休業日始	1/18(土)	土曜授業・作品展